科目ナンバリング	U-LAS05 20021 SJ23				
授業科目名<英訳>	地理学基礎ゼミナールII（作図） Introductory Seminar on Geography II (Methods for Mapping)		担当者所属職名・氏名	人間・環境学研究科 教授	小島　泰雄
群	人文・社会科学科目群	分野(分類)	地域・文化(各論)	使用言語	日本語
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	ゼミナール（対面授業科目）
開講年度・開講期	2026・後期	曜時限	木3	配当学年	全回生	対象学生	全学向

[授業の概要・目的]

テーマ：主題図を描いて考える。
地図は地理学の基本的な研究対象であり、また研究方法でもある。このゼミナールでは、主題図をめぐるさまざまな作業と討論を通して、地図に対する理解を深め、受講生の研究活動における地図利用の可能性をひろげる。あわせて社会生活において的確に主題図を活用する能力を養成する。

[到達目標]

地理学の基本的な研究方法である作図を習得する。

[授業計画と内容]

以下のような課題について、1課題あたり１～２週の授業をする予定である。授業回数は15回、最終回はフィードバック。

１．主題図とは何か：論文に主題図をさがし分類する
２．主題図の基礎：よい主題図とはどのようなものか？
３．記号図を描く：作図作業（１）
４．グラフ図を描く：作図作業（２）
５．流線図を描く：地図作業（３）
６．コロプレス図を描く：作図作業（４）
７．等値線図を描く：作図作業（５）
８．パソコンで地図を描く
９．主題図を紹介する
１０．自らテーマを定めて地図を描く：発表と討論

[履修要件]

地理学関係の講義科目（種類は問わない）をあわせて履修することが望ましい。
なお、地形図等の読図については「地理学基礎ゼミナールⅠ（読図）」が開かれている。また、地理情報システム（GIS）については「地理学基礎ゼミナールⅢ（地理情報）」が開かれている。

[成績評価の方法・観点]

平常点評価。 討論への積極的な参加（3割）と課題への取り組み（7割）の２つの観点から評価する。

[教科書]

使用しない

地理学基礎ゼミナールII（作図）(2)へ続く↓↓↓

地理学基礎ゼミナールII（作図）(2)

[参考書等]

（参考書）
授業中に紹介する

[授業外学修（予習・復習）等]

課題の中には授業時間内に作業が終わらない場合があるが、次回までの宿題となる。また作業のための準備に関する指示が毎回、提示され、それを行って授業に臨むことが求められる。

[その他（オフィスアワー等）]

ゼミナール形式で行うことから、毎回出席できることを前提とする。それは、自らの作業・発表だけでなく、他の受講生の作業を見たり、発表を聞いて討論することが、ゼミナールの重要な過程となるからである。
教室の収容人員から履修者は15名までとする。とくに履修を希望する学生には「教員推薦」を実施する予定です。

[主要授業科目（学部・学科名）]

総合人間学部